



特定非営利活動法人

ぶくぶくばるーん

ぶくぶくつうしん

ばるーんで遊ぼう！

病院の子供たちと家族に笑顔をお届けます

No.44 秋号 2021.10 発行

発行責任者:加藤 剛二 編集:ぶくぶくばるーん編集委員会



ぶくぶくニュース

小児がん啓発キャンペーンイベント「Smile Action」 オンライン開催しました。

9月9日(木)、名古屋市中区栄にある中部電力 MIRAI TOWERのスペースをお借りし、小児がん啓発キャンペーンGGSC(グローバル・ゴールド・キャンペーン)のイベントとして、Smile Actionを開催しました。

16時から19時まで、ライブ配信ツール「ストリームヤード」を使い、色々なプログラムをぶくぶくばるーん公式YouTubeチャンネルと公式Facebookページに同時配信しました。(10月19日現在、YouTubeチャンネル472回視聴、FBページ258回視聴)

現在コロナ禍で活動に制限が出ていますが、久しぶりに大勢の方に向けて、ぶくぶくばるーんの活動や小児がんについて知って頂くことができ、とても貴重な機会となりました。

MCは、ぶくぶくばるーんの役員であり、歌手でラジオパーソナリティーのつボイノリオさんに協力して頂きました。



中部電力 MIRAI TOWERをゴールドに！

小児がん支援のシンボル、ゴールドリボン。

このゴールドリボンにちなんで、毎年9月には、各国 政府や国際機関を含む小児がんの支援者たちが、小児がんの子どもへの支援を表明しています。世界中の名所やシンボルをゴールドにライトアップしたり、イベントを行っており、日本では東京を中心に、各地でライトアップ、イベントが行われました。

そして私たち名古屋では、中部電力MIRAI TOWERをゴールドに！コロナ禍で18時から20時までの2時間だけのライトアップでしたが、タワーの下では大勢の方がゴールドになったタワーの写真を撮っていました。

Smile  Action

GGSC(グローバル・ゴールド・セプテンバー・キャンペーン)

小児がんの患者さんとその両親、小児がん経験者の強い思いによって始まり、世界中で広く支持される小児がん啓発キャンペーンです。世界規模の小児がん学会である「国際小児がん学会」も全世界で「グローバル・セプテンバー・キャンペーン」を推し進めており、毎年9月には各国政府 や国際機関などを含む小児がん支援者たちが、小児がんの子どもたちへの支援を表明しています。

<Smile Action当日はこんなプログラムでした！>

- 16:00~16:10 オープニングトーク
- 16:10~16:40 ぷくぷくばるーんによるバルーン教室
- 16:45~17:35 「小児がんの子どもにできる私たちの支援」トークセッション
 国立病院機構名古屋医療センター 小児科 堀部敬三先生
 特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん理事 大竹由美子(元患者家族)
 元患者さん(高校1年生の女性)
- 17:40~18:00 ビデオレター (はやみねかおる先生、加藤みきおさん)
- 18:00~18:10 中部電力 MIRAI TOWERタワー カウントダウン
- 18:10~18:30 小児がんの子どもたちへ、応援メッセージ
- 18:30~18:45 終了あいさつ



<イベント動画、応援メッセージ、スタートアップライブ動画>

★ライブのアーカイブは、公式YouTubeチャンネルと公式Facebookページでご視聴ください！★



当日の様子が、テレビ、新聞、ラジオで紹介されました



イベントの様子は、中日新聞朝刊、CBCテレビニュース、CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞けば」で紹介されました。また、イベント前にはつボイノリオさんの番組で国立名古屋医療センターの堀部敬三先生が小児がんについてお話されたり、何度もイベントの紹介をして頂きました。

**イベント協賛企業様
ありがとうございました！**

株式会社 八神製作所
-Human Care Company-



M A R U M E

円銘



三品雅義税理士事務所

有限会社坪井令夫商店

あいち小児保健医療総合センターにて、 オンライン活動をしました。



8月、あいち小児医療センターにて、ZOOMを使い、オンライン活動を行いました。

今までは病院で直接子どもたちと触れ合っていました、オンラインでの活動は初めて。まずは夏祭りのイベントとして、行ってみました。

いつもは季節に合わせた作品を作りますが、今回は初回ということで、簡単な犬などを作ってみました。

今までは私たちサポートできたことも、オンラインでは保育士さんが子どもたちのしなければいけません。バルーンの作り方に慣れていない保育士さんや親御さんが、画面上での説明を元にバルーンアートを作るのは、かなり大変！

今後の課題として、もっとわかりやすくするにはどうするか、考えなくては！！と思っています。

バルーンとポンプを各病院の子どもたちに プレゼントしました。

病院へ訪問しての活動が出来なくなって、早1年半。YouTubeチャンネルにバルーンの作りかた動画を載せてはいるものの、肝心のバルーンとポンプが無ければ子どもたちも遊べません。

ということで、バルーンとポンプを各病院にプレゼントさせて頂きました。大勢の子どもたちが遊べるように、長いバルーンや丸いバルーンなど色々な種類を取りそろえたので、保育士さんやお親御さんたちと一緒に楽しんでもらえたら嬉しいですね！



病院の子ども限定遊び紹介サイト 「病院の子どもに遊びを届けようプロジェクト」を 仮オープンしました。



このサイトは、毎日新聞大阪社会事業団小児がん征圧基金にて制作しました。

このサイトは、

①YouTubeチャンネルのポータルサイト

②ライブプレイルーム(オンラインで子どもたちと繋いで遊ぶ)

この2つがメインとなっています。

YouTubeチャンネルは、子ども向けの遊びや海外で暮らす日本人など、色々楽しいチャンネルが集まってきました。

まだライブプレイルームは機能できていませんが、これから配信できる病院があれば、すぐに始めたいと考えています。

※病院の子ども限定にし、個人情報にも気を付けています。

- サイトに掲載OKな楽しいYouTubeチャンネル
- ライブプレイルームで活動してくれる方
- ライブプレイルーム配信可能な病院を募集しています！

お問い合わせは、ぷくぷくばるーん大竹まで！

HPのお問い合わせ、又は pukupuku@pupu-b.jp へ！

病院向け案内チラシが必要な病院は、ご連絡ください！



今の時代に合わせた活動を

ぶくぶくばる一ん運営代表 大竹由美子

もう待つてはいられない。

それが今年に入ってから正直な気持ちです。

昨年一年間、恥ずかしながら、少なからずぶくぶくばる一んの活動は「出来ないからしょうがない」と諦めているところがあり、これからどうしようかなど考え動くこともしていませんでした。

ただ、時を待つのみ。

しかしある時、他の団体さんが精力的に活動しているのを目の当たりにし、ハッと気づいたのです。私たちは時を待てるけれど、病院の子どもたちは待つてはいられない。

日々成長している子どもたちは、今までと変わらず病院にいる。

これは、ぶくぶくばる一んの活動を始めた当初と同じ衝撃でした。大げさかもしれませんが、それぐらい私の中で大きな気持ちの変化となったのです。

今できる事はあるし、今だからこそ、今までより楽しいことも提供できる。

そう考えて作ったのが、「病院の子どもに遊びを届けようプロジェクト」のサイトです。

私たちの活動は、愛知県内の病院を訪問して、実際に一緒に遊ぶこと。それはこれからも変わりません。

しかし、社会の中でオンラインが主流になってきた今、もう名古屋市とか愛知県とか、日本とか、関係ないのです。私たちと北海道の病院の子が遊べるかもしれないし、海外から日本の病院の子どもたちに遊びを届けられるのです。(実際に、オンラインプレイルームはそうなる予定です)

ある意味、遊びの提供という意味において、ものすごく良い時代になってきました。

だからこそ、今の時代に合わせた活動を。これからも進めていきたいと思っています。

オンラインのライブ配信を開始しました！

公式YouTubeチャンネルと公式Facebookページにて、ライブで情報発信を始めました。

これから、小児病棟の遊びに限らず、色々な社会活動をしている方々を招いての対談ライブやぶくぶくばる一んのこと、そのほか色々な情報発信をしていきたいと考えています。

第一回目のライブは、9月21日に認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパンの代表理事 松本恵里さんをお招きしました。

「夢中になれる小児病棟～子どもとアーティストが出会ったら」(英治出版)の著者でもある松本さんに、スマイリングホスピタルジャパンの活動のこと、コロナ禍での活動のことなどをお聴きました。

※是非、ぶくぶくYouTubeチャンネル等のアーカイブをご覧ください！

ぶくぶくばる一ん presents LIVE Vol.1
笑顔いっぱい！
“夢中になれる小児病棟”
認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパン × NPO法人ぶくぶくばる一ん
代表理事 松本恵里 × 運営代表 大竹由美子
9/21 (水) 21時半～22時



夢中になれる小児病棟～子どもとアーティストが出会ったら 松本恵里 著 (英治出版)1600円＋税

元重症患者で、元院内学級の教員。

だからこそ、闘病する子どもの気持ちも、子どもたちを支える人の気持ちもわかる、松本恵里さん。

この決して押し付けではない気持ちが、スマイリングホスピタルジャパンの活動の根幹になっているのだと思います。

ぶくぶくばる一んも同じ気持ち。

子どもたちが、病気のこと、治療のこと、学校のこと、色々なことを忘れて心から笑える“子ども”に戻る時間を届けたいと思っています。

スマイリングホスピタルジャパンの活動は、プロのアーティストたちが本物のアートを子どもたちに届けています。

そこで感じる刺激が、どんなに子どもたちの心の成長に大切なことか。

私たちぶくぶくばる一んも、改めて初心に戻れました。

そして、闘病する子どもたちに、今何が本当に必要なのかが分かる、素敵な一冊です。



Amazonでの購入は
こちら

「がんと生きる言葉の処方箋」 応援チャンネルに出演しました

「がんと生きる言葉の処方箋」とは・・・

がん患者の苦しみを言葉で癒す「言葉の処方箋」とも言われる「がん哲学外来」と、そこから発展して生まれた「がん哲学外来メディカル・カフェ」をテーマに撮り上げたドキュメンタリー映画です。名古屋の高校生も出演しています。(監督 野澤和之)



「がんと生きる言葉の処方箋」
応援チャンネル(YouTube)



この映画の応援チャンネル(YouTube)に大竹が出演し、「応援の言葉」をお話しました。その言葉は、「闘病する子どもたちは、身体は病気でも、心まで病気ではない」です。是非、ご覧ください。

〈あらすじ〉

がん哲学外来から発展して出来たのが「がん哲学外来メディカル・カフェ」。全国のカフェで講演を続ける樋野教授。樋野先生の考え方に共鳴してそれぞれにカフェを開設して元気に活動している4人の主人公たち。

乳がんを経験して自分の生きる使命に気づいた女性。大病院でがん哲学外来を実践する外科医。乳がんを体験して地域の人々と悩みを分かち合うシングルマザー。脳腫瘍を体験した高校生は、病の子どもたちのために役立ちたいとカフェを運営する。それぞれが、それぞれの立場で言葉の処方箋を投げかけ合い、生きる力を創り出していく。がんに悩む人々が元気になる瞬間、映画空間が明るく人々に語り掛ける。

(プロダクションノートから抜粋しました)

今年の理事会・総会は、リアルとオンラインのハイブリッドで開催しました！



今までの理事会は、すべて実際に集まって開催していましたが、今年からオンラインでの参加も出来るようにしました。

その結果、東京の理事や時間的に難しかった理事も、参加可能になり、例年以上に活気のある理事会・総会となりました。

Smile Actionのイベントも、この理事会で紹介がありすぐに参加が決まるなど、さらに深い活動となる機会になった理事会でした。

今後も、オンラインを活用することで、活動の幅を広げていこうと思います。

たくさんのご支援ありがとうございました！(4月～9月)

ひだかこどもクリニック様 円銘建設株式会社様 株式会社八神製作所様 有限会社坪井令夫商店様 三品雅義税理士事務所様 石井てっぺい様 西原正子様 寺田典枝様 紅谷寛子様 稲葉千穂子様 高坂久美子様 加藤剛二先生 塚本綾子様 高柳仁史様 加藤定和様 森井宏美様 諏訪淑子様

〈Smile Action 動画制作〉 竹内幹様

〈Smile Action 配信場所提供〉 中部電力 MIRAI TOWER

〈Smile Action ビデオレター〉 はやみねかおる先生(児童文学作家) 加藤みきお様(大道芸人)

〈Smile Action 応援メッセージ〉 大勢の皆さま

〈Smile Action 司会〉 つポイノリオ様

〈Smile Action 現場監修〉 株式会社ハートウイング 永山雅美様 吉野綾花様

〈Smile Action 座談会〉 堀部敬三先生(国立病院機構名古屋医療センター) 元患者さん

〈Smile Action 全体協力〉 堀部敬三先生 生田サリー様

〈病院の子ども応援サイト〉 公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団

〈病院の子ども応援サイト 制作〉 北野まなみ様

ぷくぷくばるーんの活動にご協力ください



みなさん、
ご協力よろしく
お願いします！！

<活動協力>

1. ホスピタルサポーター(ボランティア)として 活動に参加!

まだリアル活動は再開できませんが・・・

小児病棟に入院する子ども達へ、私たちと一緒に楽しい時間と笑顔を届けましょう。

バルーンを作るのも、ボランティア活動も初めて！という方も大歓迎。詳細はHPをご覧ください
<http://pupu-b.jp>

2. 小児病棟でイベント企画をする! 「コラボイベント」「お母さんスマイルプロジェクト」

コンサート、読み聞かせ、マッサージなど、子ども向け、お母さん向けのイベントを開催してください。

3. 思春期の子どもたちに部活動的関わりをする! 「forティーンズプロジェクト」

ギターを教える、歌を教える、イラスト教室をする。。。

など中学生以上の子どもたちが楽しみにできる事を提供してください。

この活動を、オンライン(ZOOM)でリアル開催!
もしくは、動画やライブで配信してみませんか?

<活動資金協力>

活動資金を提供して下さることで、安定した活動ができるようになります。

※主に、ボランティア交通費、バルーンなどの材料費、イベントの謝礼など

- ぷくぷくサポーター 個人 3000円 (一口) ●ご寄附
- (賛助会員) 法人 10000円 (一口)

【入金方法】①ホームページから(クレジットカード) ②銀行振込 (三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行) ③ペイパル

- 三菱UFJ銀行 金山支店 普0008327 特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん 理事長 加藤剛二
- ゆうちょ銀行 ・(振替)記号12170 番号55875251 特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん (ゆうちょ同士の振込)
- ・店名二一八 店番218 普5587525 特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん (他銀行から振込)



クレジット決済は
こちらから



ペイパルはこちらから

https://paypal.me/pukupukuballoon?locale.x=ja_JP

寄付も会員も
ボランティアも募
集しています

特定非営利活動法人
ぷくぷくばるーん

〒460-0002
名古屋市中区丸の内3-20-20
チサン丸の内第3ビル902号

TEL: 090-5105-4823

E-mail: pukupuku@pupu-b.jp

URL: <http://pupu-b.jp/>

ご寄付・ご支援はこちら

- ゆうちょ
- 三菱東京UFJ銀行
- クレジット
- ペイパル



編集後記

久しぶりの会報の発行となりました。

実際の活動は出来ていないのですが、改めて振り返ってみると、大きなイベントあり、新しいサイトオープンあり、オンライン活動あり、ライブあり・・・、色々と動いていたなと思います。

そして、今までとは違った形で、本当に多くの方に関わって頂きました。これから、どんなふうに関わりが広がっていくのか、楽しみです。 大竹

次回の

ぷくぷくつうしんVOL45春号は
2022年4月中旬発送予定です。
乞うご期待!!

編集委員 大竹由美子、永田あおい
ライター 大竹由美子、祖父江薫、橋本ゆかり、西山貴洋、
永田あおい、西原正子、安井元規
校正 日下部恵美